

平成 29 年度 事業報告書

2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日



サマーチャレンジ！カヌーキャンプ（企画事業課）



公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

目 次

I.	平成 29 年度 総括	1
II.	経営理念	2
III.	事業報告	
1.	事業実施状況	
2.	施設管理運営	
3.	事業実施報告概要（事業区分別）	3
4.	部門別（各施設）重点目標及び数値目標の達成状況	5
5.	各課（各施設）事業実施報告	
(1)	こども事業課・こども育成課（指定管理事業：児童会館 106 館）	15
	（受託事業：ミニ児童会館 97 館、放課後子ども館：1 館）	
(2)	こども劇場課（指定管理事業：やまびこ座・こぐま座）	18
(3)	若者支援事業課（指定管理事業：若者支援施設 5 館）	21
(4)	企画事業課（地域活動等事業：野外活動系事業）	24
	（自主事業：滝野自然学園）	
(5)	野外活動課（指定管理事業：北方自然教育園）	25
(6)	野外活動課（指定管理事業：定山渓自然の村）	26
(7)	野外活動課（指定管理事業：青少年山の家）	28
(8)	市民参画課（指定管理事業：札幌エルプラザ公共 4 施設）	30
(9)	企画事業課（地域活動等事業：自主事業・受託事業）	34
(10)	その他地域活動等事業（こども育成事業、財団連携事業）	35
6.	重要な契約に関する事項	36
7.	こども基金（スマイルキッズ）協力者・助成対象一覧	
IV.	事務報告	37
1.	設立年月日	
2.	定款に定める目的	
3.	定款に定める事業内容	
4.	事務所の状況	
5.	役員等に関する事項	
(1)	理事 (2) 監事 (3) 評議員	
6.	職員に関する事項（事務局組織図）	40
(1)	主要な職員 (2) 職員数	
7.	会計に関する事項	42

I. 平成 29 年度 総括

平成 29 年度は、第 3 期指定管理期間 4 年間の最終年度であり、また、公益法人制度改革に基づく公益財団法人への移行後 5 年となる節目の年であった。この間、財団経営に影響を与える様々な出来事が続き、その都度、新たな課題解決に向けた柔軟な取り組みと対応を行ってきたが、その結果、当財団の事業規模・組織規模はここ数年で飛躍的に拡大し、これに伴う財務規模も毎年数億円単位で収益が拡大し続けている。

昨今の私たち財団を取り巻く社会的課題は、少子高齢化の急速な進行や貧困率の上昇、待機児童問題等、多岐に亘っている。様々な課題解決に向けて当財団が果たすべき事業領域も拡大傾向にあり、その中で私たちにできること、すべきことを常に探求し、模索しながら、財団理念の達成に向けた歩みを着実に進めてきた。組織や事業が拡大の一途を辿る中、「人材の確保」と「人材育成」、ならびにその適切な労務管理は、当財団における喫緊の課題であることから、平成 29 年度においては、一部有期雇用職員の長期雇用化に向けた取り組みや、新たな職の設置による組織体制の強化等、効果的な事業実施に向けた経営基盤の強化に取り組んだ。

また、個々の事業領域に囚われない組織横断的な事業運営は、当財団の強みであり、発展可能性のある事業領域を広げるものであることから、平成 29 年度においても様々な事業連携を積極的に遂行し、一定の成果を得ることができた。今後も想定される様々な社会構造の変化を的確に捉え、これらに柔軟に対応しうる組織体制の整備に引き続き取り組んでいかなければならない。

当財団が掲げる目的の達成のためには、時代の変化を敏感に感じ取り、進むべき方向を見定め、これらに対応できる組織力を法人内部に養いながら、職員一人一人が持てる力を最大限に發揮していくことが不可欠である。その積み重ねが目的達成への近道であると信じ、さらなる不断の努力を進めていく。



II. 経営理念

「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」

III. 事業報告

1. 事業実施状況

平成 29 年度 事業基本方針	
1	時代のニーズに対応した事業内容の再構築
2	組織効率化に向けた事業実施体制の再設計
3	現行事業の効果検証と新規事業の積極展開
4	人材育成と職場環境整備
5	経営基盤の強化

2. 施設管理運営

(1)自主事業 2 施設

- ・滝野自然学園
- ・岩見沢地域若者サポートステーション

(2)指定管理事業 117 施設

- ・若者支援施設 5 施設
- ・児童会館 106 施設
- ・青少年山の家 1 施設
- ・定山渓自然の村 1 施設
- ・北方自然教育園 1 施設
- ・札幌エルプラザ公共 4 施設 1 施設
- ・こども劇場 2 施設

(3)受託事業 98 施設

- ・ミニ児童会館 (97 施設)
- ・放課後子ども館 (1 施設)



3. 事業実施報告概要（事業区分別）

【定款第4条】 (1)青少年の健全育成と社会参加に関する事業 (2)社会教育の推進に関する事業

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

子ども育成事業

(1)青少年活動支援事業

- ・放課後児童クラブ事業
- ・学習活動事業
- ・各種講座、講習会
- ・劇団育成支援事業
- ・インターンシップ、各種実習の受け入れ

(2)体験機会創出事業

- ・社会奉仕活動事業
- ・各団体との共同開催事業
- ・子どもの体験活動機会を創出する事業

(3)施設管理運営事業

- ・児童会館の管理業務、貸室等
- ・こども劇場の管理業務、貸室等

若者自立支援事業

(1)体験機会創出事業

- ・自立支援プログラム、就労支援トレーニングプログラム
- ・交流促進事業
- ・ボランティア参加事業 等

(2)受託事業

- ・若者サポートステーション事業（厚生労働省受託事業）等

(3)調査研究事業

- ・社会的自立に関する調査・研究事業

(4)施設管理運営事業

- ・若者支援総合センター、若者活動センターの管理業務、貸室等

自然体験活動事業

(1)滝野自然学園事業

- ・体験機会創出事業
- ・職員派遣事業
- ・情報発信事業
- ・団体支援事業
- ・施設管理運営事業

(2)北方自然教育園事業

- ・体験機会創出事業
- ・施設管理運営事業

(3)定山渓自然の村事業

- ・体験機会創出事業

(4)青少年山の家事業

- ・体験機会創出事業
- ・団体支援事業



【定款第4条】 (3)市民活動の振興に関する事業

公2 男女共同参画をはじめとする市民活動の振興等に関する事業

市民活動振興事業

- (1)活動支援事業
 - ・男女共同参画啓発事業
 - ・N P O活動支援事業
- (2)職員派遣事業
 - ・大学、専門学校他への職員派遣
- (3)情報発信事業
 - ・各種情報誌の発行事業

【定款第4条】 (4)その他法人の目的を達成するために必要な事業

収1 イベント・物品貸与等事業

- ・民間企業等から受託したイベント
企画運営等事業
- ・物品貸与等事業



他1 札幌エルプラザ等施設管理運営、 公益目的外での施設貸与事業

- ・札幌エルプラザ公共4施設、
定山渓自然の村、青少年山の家の管理運営
- ・こども劇場、若者支援施設における
公益目的外での施設貸与事業



4. 部門別（各施設）重点目標及び数値目標の達成状況

こども事業課・こども育成課

児童会館・ミニ児童会館



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】</p> <p>札幌まなびのサポート事業「まなべえ」</p> <p>①貧困を主な背景とする教育的支援として「勉強の遅れ」を取り戻すための中学生を対象とした個別学習支援の取り組みを行う。</p> <p>②将来の夢や希望に繋がるような体験活動を野外施設と連携してプログラムを実施する。</p> <p>③若者支援施設との連携を図りながら中学生にとって成果の高い取組みを推進する。</p> <p>④学習支援サポーターの大学生に対して、セミナーや研修実施を試行し、事業の拡充を図る。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①クラブ活動事業 活動内容の発表の場を設定することで、子どもたちがより一層充実した活動に取り組めるように事業展開を図る。</p> <p>②子ども運営委員会 子ども運営委員会への参加を促し、会館を利用する子どもたちの意見がより多く反映される会館運営を行う。</p> <p>③子育て支援事業 保護者から子育てに関する相談件数が増加している状況を踏まえ、多様な課題解決機会の創出を図り乳幼児の健やかな成長と保護者が安心して子育てができる環境作りへ繋げる。</p> <p>④地域連携事業 地域の中での事業活動を積極的に実施し、さらなる協力体制や連携内容の拡充を図る。</p> <p>⑤中高生事業 児童会館が中高生にとって継続して利用できる居場所となるよう、アンケート調査等による検証を継続する。</p> <p>⑥施設の有効活用 人形劇場こぐま座との事業連携をより強化することで、子どもたちの多様な体験活動の幅を広げ、児童文化に関する資料収集や人材発掘・育成を図る。</p>	<p>①グループワーク こどもによる読み聞かせ等を月に1回以上実施する。</p> <p>②ケースワーク 保護者が子育てについて学べる機会を年1回以上実施する。</p> <p>③コミュニティワーク 館外でできる地域交流事業を年1回以上実施する。</p>

【達成状況】

【地域活動等事業】

札幌まなびのサポート事業「まなべえ」

学習に向かう環境を整え、個々の理解度に合わせた学習支援活動を行った。学習以外の活動においても協会内の他施設と連携し、さまざまな体験活動を盛り込んだプログラムを実施した。他者との関わりを深め、仲間意識を高める機会を設けた。活動をとおして参加者は学習意欲や自己肯定感を高め、将来に向けて目標を持った取り組みを進めている。学習支援サポーターを対象とした研修は従事する大学生にとっても良い学びの機会となっており、中学生への関わりに自信をもって取り組む姿が見られた。

【施設運営等事業】

①クラブ活動事業

児童会館・ミニ児童会館において子どもたちの発案や希望を基にした新たな分野のクラブ活動が発足し、活動の充実に繋がった。クラブ活動をとおして、同じ目的を持って活動する楽しさを共有し、仲間意識を育むと同時にリーダー育成にも繋がった。

②子ども運営委員会

児童会館・ミニ児童会館全館で子ども運営委員会が設置され、自主性や創造性を生かし、主体的な活動の充実を図った。児童の思いを形にする取組みが各会館で実施され、児童の成長に繋がった。2月25日には全館合同事業として、サッポロファクトリーを会場に「げんキッズフェス2018」を実施し、日頃の成果を発表した。

③子育て支援事業

子育てサロン内で講座を開催し乳幼児を持つ保護者に対して、地域の中で子育てについて学ぶ機会を提供し、問題解決の一歩に繋げ、安心して子育てが出来る環境づくりを進めた。

④地域連携事業

事業の実施にあたっては、事前の調整や打ち合わせ等の実施により地域での事業と一緒に創り上げる機会となった。児童会館への理解がより深まり、協力者が増加した。

⑤中高生事業

ふりたいむ実施会館内で利用者のニーズ調査を基にした事業を実施した。また次世代の利用者となる小学6年生を対象とした事業の実施やパンフレット作成・配布を行い利用者の増加、定着化を図った。

⑥施設の有効活用

中島児童会館とこども人形劇場こぐま座2つの施設の連携を基に地域や近隣企業などと幅広い協力体制を構築することで更なる連携を図り、児童会館前を会場とした冬の屋外人形劇上演などを行った。連携・協力体制の広がりにより子どもたちは地域の中で活動成果を発表する機会を得ることが可能となり、自己肯定感の高まりに繋がった。児童文化に関する資料収集は、両施設が持つ特性を生かして行い、多角的な収集に繋がった。



【達成状況】

①こどもによる読み聞かせ等の実施

実施数 203館／203館中

達成率 100%

実施回数 12,306回

②保護者が子育てについて学べる機会の実施

実施数 203館／203館中

達成率 100%

実施事業数 263件

③館外でできる地域交流事業

実施数 203館／203館

達成率 100%

実施回数 341回

※平成29年12月17日オープンの東雁来児童会館については冬季に新規開館であったことから、館内実施の地域交流事業をカウントした。





公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

他1 目的外での施設貸与等事業



重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】 ①地域社会における文化的役割と意義</p> <p>【施設運営等事業】 ①人材育成と創造型の劇場運営 ②利用者の目線での施設運営 ③児童文化の発信基地及び文化施設としての役割の明確化 ④中島児童会館との一体運営 ⑤最小経費で最大効果を</p>	<p>①やまびこ座・こぐま座共に年間上演日数 120 日、公演数 200 回以上の確保 ②3 団体以上の新規人形劇団の誕生、育成 ③年間利用者数やまびこ座 55,000 人、こぐま座 15,000 人の確保 ④利用者アンケートの総合満足度 85%以上</p>

【達成状況】**【地域活動等事業】**

福島支援活動は、継続事業として各人形劇団と現地コーディネーターの協力により実施した。さらに他課と連携した取り組みにより活動協会全体事業として交流イベントを実施した。また、今回初めての試みとして、地域に眠る伝統人形芝居の復活プロジェクトへの協力要請もあり、劇場スキルを生かした地域活性化に大きく貢献することが出来た。

【施設運営等事業】

- ①人材育成事業（人形劇、児童劇、人形浄瑠璃）では、小学生から一般の初心者や経験者といった対象ごとの実践講座を実施し、世代間で連携することで受け皿づくりの体制を構築することができた。また、こども育成課と連携して、児童会館の人形劇クラブ育成事業を継続実施し、将来の札幌の児童文化を担う人材育成に取り組んだ。
- ②やまびこ座夏まつり等のイベント事業では、ボランティアの積極的な活動により、利用者目線での施設運営を図ることができた。特に「たのしませ隊」、「指人形ボランティア」の活動は、やまびこ座、こぐま座両施設利用者増加の一助となっている。
- ③アウトリーチ事業や砂川人形劇指導などの地域連携事業を積極的に展開し、地域活性化や人形劇文化の普及に取り組んだ。特に、長野県飯田市で開催された「いいだ人形劇フェスタ 2017」にペベットユーススクールや大学生、専門スタッフとともに参加し、人材育成の成果を全国へ発信することができた。
- ④開館記念祭「かもくま祭」や「冬の野外巨大人形劇」では地域団体や地域住民、全市に働きかけを行い多くの市民が集い楽しむ機会となった。「こどものまなび塾」においても、こぐま座と中島児童会館が一体となり、それぞれのノウハウを人材育成講座に活かした。
- ⑤公的助成（文化芸術振興費補助金、子どもゆめ基金等）の積極的な活用、関係する団体や機関との連携を積極的に図り、事業予算の確保に努めた。事業規模の縮小ではなく、連携団体とのつながりを強化し、効果的かつ効率的な共同事業の開拓を行なった。

【達成状況】

- ①やまびこ座・こぐま座共に年間上演日数 120 日、公演数 200 回以上の確保

【やまびこ座】

上演日数 144 日 (120%)
 公演数 222 回 (111%)

【こぐま座】

上演日数 116 日 (97%)
 公演数 173 回 (87%)

- ②3 団体以上の新規人形劇団の誕生、育成
 4 団体

③年間利用者数やまびこ座
 55,000 人、こぐま座
 15,000 人の確保

【やまびこ座】

64,280 人 (117%)

【こぐま座】

23,180 人 (155%)

- ④利用者アンケートの総合満足度
 99%



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

他1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	数値目標
【地域活動等事業】 ①新たな社会的課題に取り組み、札幌市にも成果を報告する ②活動協会の他課事業との連携	①利用証の発行を受けた若者数 16,000人以上
【施設運営等事業】 ①若者の成長に寄り添う ②地域若者サポーターとの協働 ③施設の有効活用	②若者登録者の延べ利用数 195,000人以上 ③自立支援の新規相談登録者数 札幌400人以上、岩見沢100人以上 ④進路決定及び最適な支援機関につながった困難を有する若者数 札幌340人以上、岩見沢70人以上 ⑤登録若者団体数 450団体以上 ⑥地域活動サポーターと共に企画した事業に参加した若者の延べ人数 6,000人以上
【達成状況】 ひきこもり等の困難を抱える若者の自立支援を平成18年度より着手し、この分野においては安定した実績と外部評価を獲得するに至った。加えて、平成25年度より大学教授らとの共同研究を開始し、若者の交流活動は孤立リスクの予防および回復の観点からも効果があることを確認した。このため、過年度より自立支援業務を通じて培ったノウハウを交流活動にも活かす形で、単に「元気な若者の健全な育成」にとどまらない事業展開を目指してきたところである。 成果事例として、若者施設のロビーでの「食」を介した交流プログラムや、キッチンカーでの市内訪問を導入することで、生活困窮世帯の子ども・若者との接点が飛躍的に増加した。相談することに抵抗がある若者や、将来の自立の困難さをまだ自覚していない子どもたちにとって、相談ではなく「遊び感覚」で繋がることのできる場として、Y o u t h + の社会的価値を再発見した。	【達成状況】 ①利用証の発行を受けた若者数 14,113人(88.21%) ②若者登録者の延べ利用数 237,221人(121.65%) ③自立支援の新規相談登録者数 合計404人(札幌354、岩見沢50)(80.80%) ④進路決定及び最適な支援機関につながった困難を有する若者数 合計320人(札幌292、岩見沢28)(78.05%) ⑤登録若者団体数 956団体(212.44%) ⑥地域活動サポーターと共に企画した事業に参加した若者の延べ人数 8,571人(142.85%)

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】</p> <p>①財団所有施設である強みを活かし、野外活動や、周辺フィールドを活用した自然体験活動等に、グループワークの手法を組み入れ魅力あるプログラムを提供し、青少年の健全育成を行う。</p> <p>②財団が指定管理で運営している野外教育施設部門や、関連NPO・団体との横断的な連携により、自主事業の拡充や幅広い分野からの指導事業受託を推進する。</p> <p>③財団が社会から必要とされる存在であり続けるべく、野外教育や各種体験活動分野の人材育成事業を継続実施し、札幌圏におけるこの分野の指導者養成団体の中核を目指す。</p> <p>④滝野自然学園の施設運営としては、利用者が快適に利用できるよう、計画的な施設維持管理を行う。また、多様な形態での利用を受け入れられるよう、利用促進を実施していく。</p>	<p>①利用人数 延べ 6,768 人</p>
<p>【達成状況】</p> <p>①これまでの実績をベースに、各種事業を展開した。引き続き対象者のニーズの把握と再構築を積極的に行っていくこととする。</p> <p>②「たきの森のようちえん」事業の特別編として、児童会館の子育てサロンを、森の子育てサロンと題して協働実施した。スタッフが互いにノウハウの情報交換を行い、それぞれの事業を高め合うことができた。</p> <p>③昨年度に引き続き、「インタープリターズキャンプ」、「アウトドアエデュケーションセミナー」と協会の強みである他セクションとの横断的な取り組みによる人材育成事業を実施した。</p> <p>④雪害による屋根の損傷があり、補修工事を実施した。自主事業や児童会館等の利用の増加に伴い、利用人数も増加している。受入の余地がある平日の利用促進を目指し、多方面への営業活動を行い、今後に繋がる感触を得た。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①利用人数 延べ 6,834 人 (100.9%)</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】</p> <p>①自然等地域資源を活用した体験プログラムの実施 ②地域住民との関係を深めるための事業実施</p>	<p>①学習館入館（観覧）者数の増 1,300人 (130,000円)</p>
<p>【施設運営等事業】</p> <p>①小中学校をはじめとする体験学習への安定的な機会提供および学習機会の強化 ②SNSの活用およびアウトリーチ事業の実施による情報発信および学習機能の強化 ③ハンズオン展示の導入と強化による、学習館（観覧）利用増 ④市民ボランティア及び事業協力者と協働した事業展開 ⑤部内各施設（青少年山の家、定山渓自然の村）との連携による人材育成</p>	<p>②貸室利用（利用料金等）の増 30,000円</p>
【達成状況】	
<p>【地域活動等事業】</p> <p>北方自然教育園のフィールドを使い、野菜や果物を育て、収穫する一般家庭向けの体験プログラムは申し込み開始と同時に定員に達し、需要の高さがうかがえた。また、農業体験参加校の2校には脱穀体験や出前精米作業の支援を実施し、地域との連携を深めることができたといえる。</p> <p>体験農場の持続的かつ安定的な運営を考慮すると、担い手としての人材育成が不可欠であり、長期的に当該業務を担うことのできる専門性を有した他団体との協働が必要であると考えられる。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>学習館の入館料については、目標値にわずかに届かなかつたが昨年度より増加しており、ロビー展示や簡単工作といった取り組みの成果が出せたといえる。また、主要な利用対象である小学校に対しての体験の場および生物教材等について安定的な提供ができた。</p> <p>一方、研修室や多目的室といった貸室事業については、目標値には及んでいたため、今後、戦略的な施設PR用パンフレットの配布や、SNSの活用など積極的な広報に努め、利用促進を図る必要があると考えられる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①学習館入館料（観覧）者数の増 1,254人 (96.5%) (125,400円)</p> <p>②貸室利用（利用料金等）の増 13,200円 (44%)</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】</p> <p>①自主事業の定着化 ②発展的事業の拡充</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①さまざまな組織との連携および協働の推進による学習機会の充実 ②自然をはじめとした地域情報の収集および発信による気づきの提供（ファンの獲得） ③事務の効率化による貸室事業のサービス向上およびコストの削減 ④野外教育施設職員としての専門性を高めるための研修実施および人材育成</p>	<p>①平日の施設利用率の増加 9.7%</p> <p>②下半期の施設利用率の増加 16.5%</p> <p>③ボランティア主体的活動実績の增加 447件（5%増）</p>
<p>【達成状況】</p> <p>【地域活動等事業】</p> <p>3年目を迎えた事業「定山渓ウインター・キャンプ・フェスティバル」では企業（9社）、市民活動団体（1団体）と連携し特設スノースクリーンを使った映像上映や、冬のテント泊体験、雪中流しうめん体験、ファットバイク体験など冬季アクティビティの紹介やテント泊体験の機会提供等を行った。</p> <p>事業終了後、テントサイトの冬季利用件数が増加傾向となり、当該事業の効果が施設運営にも反映され運営課題解決の一助となっている。</p> <p>遊々の森を活用した環境保全活動プログラムでは森林について専門知識を有する講師を招き、森林保全活動を理解し、その内容を普及、啓発する活動の担い手となるボランティアを育成することができた。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>当財団こども育成部内、若者支援部内と連携し「課題を抱える青少年の支援プログラム」を実施。「まなびのサポート事業」に参加している中学生を対象に自然体験活動のプログラム提供を行った。今後も継続した取組の中で自己肯定感を高められるプログラムの提供を行っていきたい。</p> <p>貸室業務においては受付システムを導入。円滑な受付業務につながっている。今後は予約システムを追加し、利便性の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①平日の施設利用者数の増加 11%</p> <p>②下半期の施設利用率の増加 13%</p> <p>③ボランティア主体的活動実績の增加 393件（8%減）</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】</p> <p>①トランクキットの活用 新たに作成しているエゾシカトランクキットを含め、さらに対象者を広げたプログラム開発と出張事業に取り組む。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①不登校・貧困など社会的課題の解決にむけた事業 活動協会内の各セクションと連携し、子どもたちを取りまくさまざまな社会的課題の解決を促す事業に取り組む。</p> <p>②地域・企業・他施設との連携による奥行きのある事業運営 滝野町内会、滝野公園管理者、学校など近隣地域との連携とともに、事業趣旨に関連した業務を行う企業との協力や他施設との協働など、さまざまな資源から彩られた事業を開拓する。</p> <p>③環境整備 安全・安心・衛生に配慮し、館内設備の老朽化対応に努める。また、館内では、わかりやすい表示、やさしさのある装飾、館外においては、今ある自然を有効活用し、より良い環境（美しい山の家）づくりを計画的に推し進めていく。</p>	事業収益： 2,788,800円
<p>【達成状況】</p> <p>【地域活動事業】</p> <p>① トランクキットの活用 16カ所で出張事業を行った。児童会館・ミニ児童会館の他、シニア大学、環境プラザ、青少年のための科学の祭典など様々な機会で実施し、野生動物の理解を深めもらうことができた。（ヒグマ14カ所、エゾシカ2カ所）</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>① 不登校・貧困など社会的課題の解決にむけた事業 こども育成課まなべえ事業と連携し、白石区、手稲区の「スペシャルまなべえ」として日帰りの野外体験活動プログラムの提供を行った。実施後は子どもたちの学習意欲やコミュニケーション能力の向上など、一定の効果を上げることができた。次年度以降も連携の強化を図りたい。</p> <p>②地域・企業・他施設との連携による奥行きのある事業運営 今年度は新たに芸術の森地区連合会との共同事業の実施の他、札幌市立大学と連携してエントランスロビー展示のプロジェクトを実施するなど、ネットワークの広がりを持つことができた。</p> <p>③環境整備 館内老朽箇所の早期発見により、札幌市への報告及び迅速な修繕・点検等を行うことができた。また、動物の足跡をたどると施設内の目的場所に到達できるといった掲示・装飾にも力を入れ、利用者が施設を利用するにあたって分かりやすい工夫を施した。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>事業収益： 2,890,954円 (達成率 103.7%)</p>

公2 男女共同参画をはじめとする市民活動の振興等に関する事業

他1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】</p> <p>①市民ニーズを捉えた利便性の向上と札幌市や国の施策を反映した事業の実施。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①施設管理における施設・設備を良好に維持するため、日々および計画的なメンテナンスを行う。 ②各分野の拠点施設として、将来を見据えた事業展開を行う。</p>	<p>①男女共同参画センター 男女共同参画の啓発事業回数 65回</p> <p>②市民活動サポートセンター 研修学習事業（講座）定員充足 80% 相談件数 900 件</p> <p>③環境プラザ 事業で連携する団体数 40 団体</p> <p>④情報センター 各分野の活動支援団体の情報受 発信支援（共催・協力事業等） の実施 20 団体</p> <p>⑤4 施設全体 施設総利用者数 年間 700,000 人</p>
<p>【達成状況】</p> <p>【地域活動等事業】</p> <p>①男女共同参画の推進、市民活動の促進などに関する活動をさらに発展させるため、「女性起業家等支援ネットワーク事業（経済産業省）」「女性向けコワーキングスペース事業（札幌市市民文化局）」「特定非営利活動促進法所轄庁事務補助業務（札幌市市民文化局）」等、国や関係機関との連携を念頭に置いた取組を実施することができた。</p> <p>②有料貸室の利用者の利便性を考え設置したインターネット（Wi-Fi）貸出、イス貸出、ホワイトボード貸出は前年度より増収となった。また、カップ式や SAPICA 等の電子マネー対応の自動販売機については前年度水準の収益を確保することができ、市民サービスの向上につなげることができた。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①施設が設置されて 14 年が経過し、さらに経年劣化による設備、備品等の故障等の増加が見られたが、軽微な破損や損傷は、可能な限り職員が修理をする等、迅速に対応し利用者へのサービスの低下につながらない配慮と工夫を行った。今後についても、中長期的な展望を見据えた修繕計画を所管局と協議していきたい。</p> <p>②「男女共同参画」「市民活動」「環境保全」に関する総合的な拠点施設として、市のプラン等の施策に基づいた事業を展開。特に「女性のためのキャリア支援事業」（男女）、「市民活動団体等へのスタート支援」（市民）、「環境関連団体とのコーディネート事業」（環境）については重点的に取り組むことができた。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①男女共同参画センター 男女共同参画の啓発事業回数 73回（112.3%）</p> <p>②市民活動サポートセンター 研修学習事業（講座） 定員充足率 77% 相談件数 614 件（68.2%）</p> <p>③環境プラザ 事業連携団体 44 団体 (110%)</p> <p>④情報センター 各分野の活動支援団体の情報受 発信支援の実施 17 団体 (85%)</p> <p>⑤4 施設全体 施設総利用者数 627,964 人 (89.7%)</p>

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】</p> <p>①既存事業の強化 ②長期的視野に立った「さっぽろ雪まつり」関連事業の精査 ③事業推進に必要な職員育成と並行した、計画的な業務の推進</p>	<p>①イベント事業収益 総額 8,000 万円以上</p> <p>②コスト管理 各事業単体における 実收益率 35%以上の確保</p>
<p>【達成状況】</p> <p>①長年、企画提案事業等で受託してきた水道記念館の事業において、これまでの成果が認められ 30 年度からは特命契約となった。また、水道記念館や下水道科学館といった公共施設の事業受託（企画提案）のほか、これまであまりかかわりが多くなかった各区からも指名入札の連絡をいただく機会が増えており、清田区については受託に至った。これまでの実績が評価された結果だと考えている。</p> <p>②札幌雪まつりつどーむ会場において、今後継続して事業を進めていく上で、従事する職員の育成と技術伝承が必須となるが、異動等により安定的な従事者確保が難しかったため、次年度においても継続して実施していく。大通会場においても制作隊主要スタッフの人員確保が難しかったため、育成の観点を持ち、次年度以降も従事してもらえるような作業環境の見直しを進めた。</p> <p>③「外部との打合せ等、積極的に上司が部下を帯同させる」ことを実践してきたが、次年度においても、再度徹底を図り、業務理解、責任感、人脈の構築に繋げたい。また、職員全員が“自らが必要と感じている分野の研修会へ参加すること”を徹底することにより、個人はもとより、参加後は職員や事業にフィードバックすることで、組織のスキルアップにつながった。次年度においても引き続き実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①イベント事業収益 総額 8,200 万円 (102.5%)</p> <p>②コスト管理 各事業単体における 実收益率 47.5% を達成</p>



5. 各課（各施設）の事業実施報告

（1）こども事業課・こども育成課【指定管理事業：児童会館 106館】

【受託事業：ミニ児童会館 97館／放課後子ども館 1館】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
青少年活動 支援事業	<p>「児童会館・ミニ児童会館等レベルアップ」</p> <p>すべての子どもたちに居心地のよい生活環境や遊びの提供をとおして、子ども一人ひとりの健全育成を促した。</p> <p>4月より茨戸小放課後子ども館がミニ児童会館に転換し、また二条小ミニ児童会館が二条はるにれ児童会館となり、子どもたちの居場所としての機能の充実をより一層図っている。</p>	<p>202館 (放課後児童クラブ開設館)</p> <p>児童クラブ登録人数 20,272人 ※平成29年度延べ登録数</p>
	<p>「とよひらっぴーフェスティバル」</p> <p>若者支援施設との連携事業。中高校生の自己実現の場の創出と地域を超えた幅広い交流促進を目的に、中高校生向けのイベントを実施した。中高校生と大学生ボランティアで実行委員会を構成し、実施に向けた企画会議から準備を行った。バスケットボール大会を中心としたスポーツ交流や、高校生による音楽ライブやダンスパフォーマンス発表、また参加者の多くが楽しめる参加型ゲーム大会等のプログラム展開を行い中高校生の交流活動の場とした。</p>	<p>11/23 75人</p>
体験機会 創出事業	<p>野外・自然体験活動</p> <p>各施設内での実施が難しい野外自然体験活動は、多数の会館で独自の事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「秋の定山渓でデイキャンプ！」 <p>定山渓自然の村を会場にミニ児童会館内では体験できないピザづくりや木工作活動を行った。高学年がグループのリーダーとして活躍する場面も見られ、貴重な体験をすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道クボタ e プロジェクト」 <p>(株)北海道クボタと企画事業課との連携事業。畑おこしや苗の植え付け、種まき体験を実施した。トラクターの乗車体験や裏山散策など自然体験活動を行った。</p>	<p>9/11 48人</p> <p>5月、7月、9月の3回 延べ126人</p>

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会 創出事業	<p>全館合同事業「げんキッズフェス2018」</p> <p>札幌市内各児童会館の子ども運営委員会やクラブ活動の成果発表、子どもたちの自己実現の場を創出し、広く市民に活動を理解していただく機会とするイベント。</p> <p>サッポロファクトリーを会場として、ステージ発表のほか来場者が体験できる模擬児童会館活動や展示コーナーを展開し、会場内各店舗で子どもたちによる仕事体験や会場内の取材活動を実施した。仕事に対する興味関心を広げるとともに、非日常体験をとおして達成感や自己肯定感を高める機会となった。</p>	2/25 約 8,000 人
地域連携 事業	<p>「ゆきあかり IN 中島公園」</p> <p>こども人形劇場こぐま座との連携事業。札幌中心部にありながら、自然豊かな中島公園を会場とし、スノーキャンドルの制作・点灯イベント事業や、雪像ステージ上での子どもたちによる屋外人形劇上演などを実施した。スノーキャンドルを灯した幻想的な空間を創出し、札幌の冬を楽しむ機会を提供した。地域との連携を育むとともに、地域全体で中島公園の魅力を発見・発信していく機会とした。</p>	2/9～11 6,936 人
人材育成 事業	<p>「アンガーマネジメント講習会」</p> <p>児童クラブ懇談会において外部講師を招き、アンガーマネジメントについて子ども向けと大人向けに、対象者別の内容で講座を実施した。参加対象は児童クラブ保護者に限らず、広く地域住民へも周知し、学びの場を提供する機会とした。</p>	12/15 57 人

平成29年度 札幌市児童会館（106館）およびミニ児童会館（97館）利用状況

利用状況		(人)						
区分	開館日数 及び回数 (延べ数)	人 数	利 用 人 数 の 内 数					
			幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	一般
児童会館	31,247	2,342,662	207,636	1,333,421	360,932	96,193	54,317	290,163
ミニ児童会館	28,670	1,487,618	5,432	1,209,070	247,127	1,720	1,167	23,102
占用利用	11,411	176,549	7,763	32,343	40,365	25,120	3,958	67,000
総 利 用		4,006,829	220,831	2,574,834	648,424	123,033	59,442	380,265

総利用人数(前年度3,921,116人・前年比102.2%)

(人)

区分	平成29年4月末日現在の在籍数							延べ 入会	延べ 退会	平成30年3月末日現在の在籍数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計			1年	2年	3年	4年	5年	6年	
在籍人数	5,154	4,618	3,654	2,103	958	309	16,796	20,272	3,171	5,623	4,779	3,574	1,975	870	285	17,106

4月末日現在の在籍数の比較(前年度15,652人・前年比107.3 %)

(人)

区分	(人)							内訳	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	クラブ	直来
普通学級	129	150	110	87	49	34	559	462	97
特別支援学級	76	76	77	49	60	44	382	214	168
特別支援学校	1	2	0	2	3	1	9	2	7
計	206	228	187	138	112	79	950	678	272

(前年度800人・前年比118.7%)



(2) こども劇場課

①やまびこ座

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業 (一般対象)	<p>「こどものまなび塾」</p> <p>子どもに携わる仕事をしている方、地域のボランティア、これから子どもたちと関わる仕事をしたいと考えている方の「学びの場」や「情報交換の場」とし、子どもたちとの関わり方や子どもたちの実態把握、家族や地域とのつながりを見つめ直し、地域や社会において子どもたちと関わる人材を育成した。</p>	10/5～2/1 延べ 453 人
	<p>「初心者のための人形劇講座」</p> <p>18歳以上（高校生を除く）の市民を対象とし、作品選びから脚本、人形作り、上演までの基本を学ぶ実践講座。昼コースはやまびこ座、夜コースはこぐま座で実施した。その成果発表として、昼コース・夜コース合同で修了記念公演を実施した。</p>	4/20～7/17 延べ 543 人
人材育成事業 (こども対象)	<p>「人形劇クラブの指導および育成」</p> <p>児童会館にある人形劇クラブや、これから人形劇を始めたいという児童会館に対して、人形劇の指導および育成協力を行なった。中長期的な活動を目標とし、児童会館へ出向き指導にあたった。子どもたちへの指導はもちろんであるが、児童会館職員に対してのスキル向上や人形劇等の児童文化への理解、関心を引き出し、将来的には児童会館での人形劇クラブの普及を目指す。</p>	4/20～3/23 延べ 1,453 人
公演事業	<p>「いいだ人形劇フェスタ 2017 派遣交流事業」</p> <p>やまびこ座、こぐま座で育成する中学、高校生のペペットユーススクール、そして人形劇や人形浄瑠璃のユースクラスを卒業した大学生、札幌の専門アーティストによる、プロデュース事業（巨大人形劇フェスティバル、プロデュース人形劇巡回公演、札幌劇団公演）を実施・上演した。</p>	8/1～5 延べ 2,515 人
	<p>「プロデュース人形劇『北海道の人形劇シリーズ』巡回公演」</p> <p>子どものための専門劇場として、児童文化を創造発信するやまびこ座とこぐま座がプロデュースし、より質の高い人形劇作品の公演を実施。子どもたちに北海道の歴史や文化への理解を深めてもらうことを目的に、こぐま座公演をはじめ、道内巡回公演を実施した。</p>	3/18（砂川） 3/23～24 (こぐま座) 3/25（岩見沢） 延べ 575 人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
公演事業	<p>「やまびこ座プロデュース公演」</p> <p>やまびこ座が行っている演劇に関する育成事業の集大成の場として、東区市民劇団「オニオン座」、遊劇舎、劇☆やまびこ座 YOUTH の子どもから大人までが参加する、東区を題材とした演劇を企画・制作する。専門のアーティストと協働して、ワークショップを重ねながら芝居を創りあげていく。</p>	11/7～3/27 延べ 720 人

②こぐま座

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
公演事業	<p>「札幌国際芸術祭 2017『中島公園百物語』」</p> <p>巨大人形劇の制作や上演をとおして、多くの市民に人形劇の魅力を伝えると共に、札幌で人形劇活動をする子どもから大人までが協働することで、人形劇文化の底上げ、人材育成につながった。また、全市的な取り組みである札幌国際芸術祭へ参加することで、やまびこ座・こぐま座の活動を広く市民にPRを図った。</p>	4/1～8/20 延べ 2,044 人
地域連携事業	<p>「中島児童会館・こぐま座開館記念祭『第 11 回かもくま祭』」</p> <p>中島児童会館、地域団体と連携し、近隣の市民はもちろんのこと、全市に働きかけを行い、ボランティアスタッフの協力のもと多くの市民が楽しみ開館を祝うお祭りを実施した。</p> <p>前夜祭では、昨年度こぐま座 40 周年記念事業で制作した野外巨大人形劇「ピノキオ」を上演した。</p>	7/1～2 延べ 3,351 人
その他事業	<p>「中島児童会館・こぐま座連携事業 冬の野外巨大人形劇『宮沢賢治～雪あかり～』」</p> <p>沢則行氏（人形劇師、チェコ在住）を芸術監督に迎え、小学生の子ども人形劇団、中高校生のパペットユーススクールや大学生の子どもたちが、札幌で活躍する専門スタッフやアーティストと共に北海道ならではの雪像を舞台に、宮沢賢治原作の野外巨大人形劇「雪わたり」を上演した。</p>	2/9～11 延べ 2,806 人

平成29年度 札幌市こども劇場利用状況報告

■こどもの劇場「やまびこ座」

【利用状況】

区分	件数(件)	人数(人)	稼働率
ホール	682	30,476	室利用総人数 53,762
会議室	411	4,395	
研修室	577	9,894	
美術工作室	639	8,997	
ロビー・展示室・図書コーナー	-	10,495	
研修・見学	-	23	
総利用数	2,309	64,280	

利用件数（前年度 2,280件・前年比 101.3%）

利用人数（前年度 61,920人・前年比 103.8%）

【ホール利用内訳】

観劇者数	無料(人)	1,712
	招待(人)	1,582
	有料(人)	16,041
	合計(人) ... (a)	19,335
出演者の数(含むリハーサル)(... (b)		11,141
出演者観劇者総数(人) ... (a+b)		30,476
上演回数(回)		222
上演日数(日)		144
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		139
上演1回あたりの観客数(人)		87

■こども人形劇場「こぐま座」

【利用状況（ホール利用内訳）】

観劇者数	無料(人)	975
	招待(人)	637
	有料(人)	7,490
	合計(人) ... (a)	9,102
出演者の数(含むリハーサル)(... (b)		4,840
出演者観劇者総数(人) ... (a+b)		13,942
研修・見学 ... (c)		9,238
利用者総数 ... (a+b+c)		23,180
上演回数(回)		173
上演日数(日)		116
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		236
上演1回あたりの観客数(人)		53

利用人数（前年度 20,881人・前年比 111.0%）



(3) 若者支援事業課 【指定管理事業：若者支援施設 5 館】

①若者支援総合センター（Y o u t h +センター）

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
自立支援事業	<p>「初期支援『You 食』」</p> <p>貧困・孤立予防への取り組みとして、食にまつわる事業を実施。主に自立支援プログラムの利用者と職員が作った食事を、ロビー利用者に提供した。食材は、地域若者サポーターのいる連携先企業から提供を受けている。食にまつわる事業を行っていることから、センターに来れば食事ができるかもしれないという、若者の期待値が形成されてきている。</p>	4/7～3/7 (全 19 回) 延べ 422 人
交流促進事業	<p>「ボイトレグループレッスン」</p> <p>専門学校スクールオブミュージックと連携し、講座の実施から若者主体のグループ育成を目指した。講師も学生ということもあり、単なる講師・生徒という関係性ではなく、ともにグループを形成するメンバーとしてグループ活動に参画してくれたため、事業後にはセンター主催グループとして活動を続けるに至っている。</p>	11/6～27 延べ 30 人

②アカシア若者活動センター（Y o u t h +アカシア）

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
交流促進事業	<p>「アカシアDAY～国際交流DAY～」</p> <p>今回は、若者が興味関心のあるジャンルからテーマを選択し、施設を利用する国際的な若者団体のメンバーの方を講師として招き、ベトナム料理づくりを実施した。様々な国籍の留学生が参加したことにより、若者にとって多様な文化や価値観に触れる機会となった。また、参加した小学生の保護者がおむすびのにぎり方を留学生に教える場面もあり、留学生にとっても満足度の高い交流会となった。</p>	3/4 30 人
社会参加促進事業	<p>「他課との連携『新琴似西児童会館訪問』」</p> <p>今年度、新たにつながりを持った中高生との関わりの強化を目的に、新琴似西児童会館を訪問した。高校受験を控えた中学生の面接練習や高校生からの家庭の経済状況の相談も寄せられ、目的どおりの効果を得ることができた。次年度以降も継続して連携し、サポート体制を強化していく。</p>	3/1 7 人

③ポプラ若者活動センター（Y o u t h + ポプラ）

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
社会参加促進事業	<p>「雪まつり人材育成講座」</p> <p>第 69 回さっぽろ雪まつりつどーむ会場・若者実行委員会を結成し、実行委員会による会場案内や各アトラクション運営を行った。また、会場を盛り上げるための企画立案をし、実施した。</p>	11/14～2/26 延べ 1,086 人
交流促進事業	<p>「ポプラ Youth+キッチン」</p> <p>若者や地域若者サポーターと協働しながら、中高生を含む若者に無料で食べ物や飲み物を提供し、Youth+来館の足がかりになるようにした。事業を通じて若者の貧困や家庭環境について、他事業とも連動させながら実態調査を行った。</p>	6/21～3/7 延べ 328 人

④豊平若者活動センター（Y o u t h + 豊平）

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
社会参加促進事業	<p>「夏まつりだよ 12 分区」</p> <p>所属町内会との共催で、Youth+豊平の駐車場スペースにて夏祭りを実施。流しうめんや大道芸体験コーナーを用意し、近隣住民および施設利用者の若者が、楽しみながら世代間交流を図った。</p> <p>その他、Youth+宮の沢の「宮の沢若者活動センター祭」では、大学生を中心とした実行員会が企画運営を行うなど、自主性・主体性を育む機会を創出した。</p>	8/6 84 人
社会参加促進事業	<p>「いま、選挙をどう考える？」</p> <p>衆議院選挙直前に実施。オープニングトークとして北海道新聞に投書していた北海学園大学の学生から選挙に対する思いを話してもらったあと、自分の興味関心から各党の政策を読み解いた。</p>	10/17 11 人

⑤宮の沢若者活動センター（Y o u t h + 宮の沢）

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
社会参加促進事業	<p>「宮の沢若者活動センター祭」</p> <p>大学生を中心としたボランティアメンバーで実行委員会を構成し、地域の方が楽しめるお祭りの企画運営を行った。実行委員会の活動をとおして地域活動へ目を向けるきっかけを作るとともに参加メンバーの自主性・主体性を育む機会とした。</p>	8/26、8/27 実行委員会 5/29～25 延べ 8,534 人
交流促進事業	<p>「交流促進講座『イチから学ぶ！ミーティングのコツ』」</p> <p>ファシリテーションの技術について、グループ活動をとおして学ぶ機会を作り、参加者が仲間作りをできるようにサポートした。当日は参加動機や特に気になる内容などを話題に、参加者同士が交流する姿が見られた。</p>	11/17、24 延べ 14 人

平成29年度 若者支援施設利用状況

(単位:人)

内 訳	総合	アカシア	ポプラ	豊平	宮の沢	合計
自立支援事業	15,751	0	0	74	0	15,825
若者	10,804	0	0	73	0	10,877
一般	4,947	0	0	1	0	4,948
交流促進事業	1,444	2,940	1,075	1,535	914	7,908
若者	1,377	2,760	988	1,371	856	7,352
一般	67	180	87	164	58	556
社会参加促進事業	790	1,890	2,494	4,125	9,567	18,866
若者	697	1,385	2,374	2,990	6,720	14,166
一般	93	505	120	1,135	2,847	4,700
ロビー利用	19,496	8,318	8,612	13,095	17,271	66,792
若者	19,015	7,753	8,389	10,398	14,857	60,412
一般	481	565	223	2,697	2,414	6,380
貸室利用	35,753	45,008	11,027	34,083	66,434	192,305
若者	29,907	38,165	6,952	26,507	38,378	139,909
一般	5,846	6,843	4,075	7,576	28,056	52,396
合計	73,234	58,156	23,208	52,912	94,186	301,696
若者	61,800	50,063	18,703	41,339	60,811	232,716
一般	11,434	8,093	4,505	11,573	33,375	68,980
(各施設前年度比)	104.1%	152.5%	102.2%	102.8%	108.4%	111.9%



(4) 企画事業課【地域活動等事業：野外活動系事業、自主事業：滝野自然学園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「たきの森のようちえん」 2歳以上の幼児とその保護者を対象にした自然体験活動。滝野の季節の移ろいに合わせた活動を主体に、概ね月に4回実施した。子どもたちの豊かな体験の場としてのほか、保護者の交流の機会となった。	通年5~2月 1,398人
	「たきの森のがっこ」 小学生対象の自然体験活動。滝野の森、川、畑をフィールドとして、各種体験活動を日帰りと宿泊を織り交ぜて概ね月に1回実施した。複数年にわたり継続して参加する小学生も多く、他者との交流と自然とのかかわりを体験的に学ぶ場となった。	通年5~2月 278人
その他指導事業	「手稻タンケンツアー」(手稻区より受託) 地域への愛着を醸成できるよう、自然・歴史・未来をキーワードに、地域の拠点を巡るバスツアーを行い、未来を担う子どもたちを対象とした体験活動事業。事業全体のコーディネートと、子どもたちのグループ活動の運営を行った。	10/9 28人
	「親子でわくわく冬あそび」(さっぽーとさっぽろより受託) 親子の交流を目的とした冬季のレクリエーションを実施した。冬あそびフルコースと題し、スノーシューをはじめ、雪を活用した各種アクティビティを実施し、参加親子が楽しく交流できる場を提供した。	2/19 38人
	「冬休み宇宙科学探検隊」(札幌商工会議所より受託) 最先端技術に触れ、子どもたちが将来の夢を描く機会を提供することを目的とした体験活動事業。チームビルディングやコミュニケーションを深めるアクティビティにより、グループ活動の促進と子どもたち自身の学びを深められる機会を提供した。	1/11~12 17人

平成29年度 滝野自然学園 利用集計(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	194	319	558	1,356	1,134	439	277	347	190	980	504	536	6,834
団体数	3	6	10	18	10	13	8	8	5	17	9	4	111

前年度比

延べ人数:98.9% (前年度人数6,913)

団体数 :67.3%(前年度団体数 165)

(5) 野外活動課【指定管理事業：北方自然教育園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「農業体験事業（体験事業）」 市立幼稚園、学校の子どもたちに農業体験をとおして自然環境や作物と自分との係わりを考え仲間と共に体験を行う機会を提供了。	5/16～12/26 延べ3,264人
	「教材用生物の提供事業」 市立幼稚園・学校に対してイネ・ヘチマ・コオロギ・カイコの生物教材を配付することにより昆虫や植物の生態を理解する機会を提供了。	6/1、6/2 延べ664校
	「家族で作る自然素材の新年しめ飾り作り」 スグを編んでしめ縄を作り、さまざまな自然素材等を用いて飾りつけを実施した。しめ飾りの意味等の解説を行うことにより、自然に親しむだけでなく伝統文化および風土について知る機会を提供了。	12/16、12/17 66人
	「大人の学び舎」 大人を対象とし、季節ごとの自然散策や化石発掘調査等に係る学習機会を提供することにより風土および自然への理解を深める機会とした。野鳥観察では、園内を散策しながら、野鳥の集まるポイントや習性、痕跡などを紹介し、写真を用いた解説を行うなど参加者の関心を深めるよう努めた。	5/20、10/1、11/1、 2/3 35人
	「北方くだものファーム」 家族でなしの栽培および収穫に係る体験をとおし、自然環境や作物とのかかわりを考える機会を提供了。	6/24～6/25、 10/21～10/22 69人

平成29年度 札幌市北方自然教育園 月別利用状況一覧表

月	施設利用						体験農場								自然 体験 学習会	自然 ふれあい 事業	その他事 業等(ボラン ティア等)	事業	合計									
	学校・園		一般		小計		学校・園				小計																	
	校 数	人 数	団体	個人	人 数 計	团 体	人 数	校 数	人 数	校 数	人 数	校 数	人 数	校 数	人 数	組 数	人 数	組 数	人 数	組 数	人 数							
4	0	0	0	0	165	165	0	165	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	24	1	24	1	189			
5	4	165	4	400	427	827	8	992	4	165	0	0	0	0	0	4	165	20	68	14	14	0	26	34	108	46	1,265	
6	23	1,218	1	24	216	240	24	1,458	5	78	16	960	0	0	2	180	23	1,218	9	34	0	0	0	254	9	288	56	2,964
7	5	213	2	53	491	544	7	757	0	0	0	0	0	0	5	213	5	213	13	43	29	29	0	24	42	96	54	1,066
8	3	123	5	144	589	733	8	856	3	123	0	0	0	0	0	3	123	23	78	3	5	1	55	27	138	38	1,117	
9	14	780	5	104	327	431	19	1,211	6	169	7	469	0	0	0	0	13	638	9	27	0	0	0	26	9	53	41	1,902
10	17	826	6	286	276	562	23	1,388	0	0	8	461	8	297	0	0	16	758	9	35	5	5	3	137	17	177	56	2,323
11	20	48	1	46	148	194	21	242	0	0	20	48	0	0	0	0	20	48	1	4	10	12	0	28	11	44	52	334
12	9	19	0	0	56	56	9	75	0	0	11	101	0	0	0	0	11	101	20	66	0	0	9	20	75	40	251	
1	0	0	1	13	65	78	1	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	28	7	27	0	8	15	63	16	141	
2	0	0	0	0	69	69	0	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20	0	9	10	29	10	98	
3	0	0	0	0	131	131	0	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	21	2	13	8	34	8	165	
合計	95	3,392	25	1,070	2,960	4,030	120	7,422	18	535	62	2,039	8	297	7	393	95	3,284	112	383	84	133	7	613	203	1,129	418	11,815

前年度比 人数: 95.4% (前年度人数12,385)
組数: 93.1% (前年度組数449)

(6) 野外活動課 【指定管理事業：定山渓自然の村】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	<p>「昆虫博士キャンプ」</p> <p>昆虫観察プログラムを行い、自然と親しみ、発見する楽しさを体験する機会を提供した。外部講師を招き、昆虫の種類や生態、虫を誘引するための簡単な装置の作り方、設置方法などの説明を受け、参加者からは「昆虫の生態について学ぶことができた」等の声が聞かれ、事業をとおして新たな気付きを提供することができた。</p>	7/27～7/28、 7/29、8/2～8/3 42組 146人
	<p>「地域連携事業」</p> <p>定山渓地区のネットワークを活用し、周辺地域の魅力を広く紹介することを目的に、(一社)定山渓観光協会主催「豊平峡ダム＆星空プレミアムカフェ」事業に参画し、星空ガイドを行った。「普段は星空を見ることがないが、ガイドを聞きながらの星空観望は面白く、驚きました。」等の感想が寄せられた。</p>	6/23～7/14 4回 延べ191人
	<p>「定山渓ウィンター・キャンプ・フェスティバル」</p> <p>北国ならではの環境を最大限に活用した冬季キャンプスタイル提案として関係団体、企業と協働で実施した。本事業は3年目を迎え、事業の成熟度、認知度も向上し前年度に比べ参加者が大幅に増加した。</p>	1/20～1/21 546人
	<p>「ユース・ボランティア」</p> <p>若者の積極的な社会参画のきっかけづくりおよび協働事業をとおした新たな学びの場の創出を目的としてボランティア事業を実施した。本事業をとおして若い世代のボランティアと継続ボランティアとの交流も生まれ、課題であった高齢化によるボランティア活動の停滞の解消につながる機会事業となった。</p>	1/15、2/15 延べ50人
	<p>「課題を抱える青少年を支援する体験活動プログラム」</p> <p>こども育成課や若者支援施設等と連携して子どもの貧困など社会的課題の解決に向かう事業を実施した。野外教育の手法を積極的に取り入れ、北方自然教育園での収穫体験や定山渓自然の村での野外炊事体験など普段体験することができない活動をとおし参加者同士の交流を図る機会となった。</p>	10/15、10/29、 11/5、12/3 176人

平成29年度施設利用状況

<利用件数>

(件)

区分	平成29年度	平成28年度	前年度比
コテージ	2,401	2,443	98.3%
テントハウス	1,061	993	106.8%
テントサイト	2,223	1,998	111.3%
合計	5,685	5,434	104.6%

<利用人数>

(人)

区分	平成29年度	平成28年度	前年度比
コテージ	9,180	9,389	97.8%
テントハウス	4,557	4,327	105.3%
テントサイト	5,690	5,057	112.5%
見学者	409	467	87.6%
合計	19,836	19,240	103.1%



(7) 野外活動課 【指定管理事業：青少年山の家】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等	
体験機会創出事業	<p>「親子で！軟石クラフト」</p> <p>南区の地域資源である「札幌軟石」を使用し、地域やもの作りへの関心を深めるための事業を実施。軟石の歴史を学ぶとともに、軟石ペンダントの製作を行った。</p>	11/12 28人	
	<p>「防災サバイバルキャンプ」</p> <p>有事の際に対応する力および備える方法を体験的に学習するとともに、便利な暮らしを見つめ直し、「自助」から「共助」の大切さを知る機会とするために実施した。</p>	① 6/11 ② 8/26～27 ③ 10/15 ④ 12/10 ⑤ 2/3～4 [合計] 117人	19人 22人 33人 20人 23人
	<p>「指導者ワークショップ事業『スウェーデンの自然学校から学ぶ「野外で授業」ワークショップ』」</p> <p>スウェーデンの学校教育における自然学校の役割や、行政及び教育制度との関わりなどについてその背景や実際を学ぶことをとおして、今後の札幌市および北海道における野外教育発展に寄与するきっかけとするため事業を実施。野外での教科学習アクティビティを行った。</p>	11/11 30人	
	<p>「地域交流事業」</p> <p>地域住民を対象に施設運営の理解を促し、親しまれる施設を目指すことを目的に実施した。芸術の森地区連合会との共同開催として芸術の森地区センターにてヒグマトランクキットを活用したプログラムを行った。</p>	12/14 12人	
	<p>「トライキャンプ」</p> <p>小学校高学年を対象に、5泊6日の長期キャンプを実施した。自宅を離れて6日間のテント生活という非日常下で各種プログラムを展開した。洞爺湖一周サイクリングをメインプログラムとし、その他に水辺の活動や軽トレッキングなどを実施した。また、5回の夕食をすべてグループでの野外炊事とし、個人・グループでの成長を促した。</p>	7/29～8/3 28人	
	<p>「親子でいち・に・さんぽ」</p> <p>幼児とその保護者を対象に、市民の学ぶ意欲を支援し、自然と親しむ機会を提供することを目的に実施した。五感を使って自然に親しむことをテーマに、季節ごとの自然に触れ、草花、水、落ち葉、雪を題材に楽しく親子遊びを展開することができた。</p>	① 5/21 10組 23名 ② 6/25 荒天中止 ③ 8/20 8組 19名 ④ 10/1 8組 18名 ⑤ 2/18 9組 23名	

平成29年度札幌市青少年山の家利用状況

主催者	項目	累計		
		団体数	実利用者数	延利用者数
学校	幼稚園等	28	1,035	1,844
	小学校	384	25,540	41,796
	中学校	72	5,604	7,679
	高校	21	1,460	3,146
	盲聾養護学校	0	0	0
	専門学校	4	158	315
	大学	3	96	183
青少年団体	その他の学校	2	58	112
	少年団体	54	2,993	5,724
指導者団体	青年団体	14	533	886
	学校教育関係	1	20	40
	社会教育関係	7	410	814
	親子	9	155	270
	官公庁	47	2,581	4,828
	その他	130	4,991	9,712
	主催事業	26	1,005	1,153
	計	802	46,639	78,502
	前年度	785	43,871	74,134
前年比		102.2%	106.3%	105.9%

(8) 市民参画課 【指定管理事業：札幌エルプラザ公共4施設】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
活動支援事業	<p>「ガールズ相談」</p> <p>性やデートDV、進路選択、ネット犯罪など、若年層の女性を取り巻く課題を解決し、相談者の自己肯定感を高めることを目的に、LINEを活用した相談窓口を開設した。</p>	8/25～9/7 1/11～1/24 希望：延べ1,153人 完了：延べ359人
	<p>「北海道女性起業支援ネットワーク」（経済産業省事業）</p> <p>女性の創業を支援する機関のネットワーク構築および支援を実施した。北見、函館での女性起業家セミナー、札幌でのフォーラムの開催、女性起業支援事例コンテストへのエントリーなどを行った。（最優秀賞を受賞）</p>	10/23、11/7、 12/12、1/25、 2/22 延べ121人
	<p>「市民活動出前講座『まちづくり活動ってなんだろう？スマイルまちづくりゲーム』」</p> <p>小学生を対象に、市民活動・まちづくりに関するゲームを使って「まちづくり活動」についての理解を深めるとともに、まちづくり活動のためにできることを自ら実践していく意識の醸成を図ることができた。</p> <p>協力：市民活動促進学生プロジェクトメンバー</p>	1/9～1/11 延べ40人
	<p>「市民活動フォーラム『仕事×NPO～パラレルキャリアのスマイル～』」</p> <p>本業をもちながら、社会貢献活動を行う「パラレルキャリア」をテーマに基調講演、パネルディスカッションを実施した。自らの市民活動との関わり方について考える機会となった。</p>	3/4 35人
	<p>「マチなか×NPO～聞いて、知って、参加して♪クリスマスちよこっと市」</p> <p>札幌駅前通北3条交差点広場にて、市民活動団体による販売、ワークショップ等の出展、ステージ発表を実施した。参加団体の活動PRとともに寄付月間キャンペーンの一環としてパネル展や寄付フォーラム先行イベントも併せて実施した。</p>	12/18～12/20 延べ7,972人 参加団体：延べ93団体

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業	<p>「誰もが働きやすい社会づくり事業『女性リーダー養成研修』」</p> <p>女性活躍を進めたいと考える企業の女性社員を対象に、キャリアを形成する上で必要なスキルの習得、また企業において女性活躍を推進するために必要なネットワーク構築をすることができた。</p>	10/23、11/7、 12/12、1/25、 2/22 延べ 121 人
	<p>「ジェンダーイシューに関わる学習機会の提供事業 学習会『Hi5!～つながるSDGsとジェンダー～』」</p> <p>SDGs（持続可能な開発目標）の達成目標に関連する活動を札幌市内で行っているゲストの話を聞くことで、参加者にSDGsと札幌市が抱える地域課題の関連性に気づく機会を提供することができた。</p>	3/10 12 人
	<p>「こどもエコクラブ支援事業」</p> <p>市内のクラブ活動を支援することで、子どもたちの環境教育の場を広げていくことを目的に実施した。北九条小ミニ児童会館のチャレンジクラブを対象に、クラフトやミツバチをテーマとした調査等の体験型プログラムを提供した。</p>	5/13～1/20 延べ 79 人
	<p>「ESD促進集会事業」</p> <p>ESD（持続可能な開発のための教育）の促進のために、自らの生活を豊かにするヒントについて交流や情報交換を行った。リメイクをテーマとした事業を行い、使わなくなったネクタイをICカードパスケースに、洋服をポシェットに作り替える講座を開催した。</p>	2/18、2/25 延べ 29 人
	<p>「コーディネート業務」</p> <p>環境保全活動の実践者を増やすことを目的に学生サポーター制度を継続し、学生と小学生の活動をつないだ。学生が子どもと関わることをとおして、子どもを対象とした環境教育の手法や主体的な学びを知り、オリジナルプログラムを開発するほか、環境プラザ事業に実際に関わり実践を体験した。</p>	4月～3月 延べ 78 人
	<p>「NPO法人設立講座」</p> <p>NPO法人設立支援のための研修機会を提供することにより、団体活動の促進を図った。</p>	9/1、2/6 延べ 46 人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
地域連携事業	<p>「エルプラまつり 2017」</p> <p>「エルプラ宝探しアドベンチャー」をテーマに、日ごろから札幌エルプラザ公共4施設を利用している市民活動団体や一般サークル団体の活動を多くの市民に広め、交流を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生団体による館内へのユーストリーム放送 ・エンディングのスライド作成 ・託児ボランティア団体と専門学校生によるキッズコーナー 他 	9/9 9,696人
情報発信事業	<p>「ミニサロン」</p> <p>4分野への興味や関心を高めるきっかけづくりとして、赤ちゃんと保護者のふれあい遊び等親子を対象とした事業を展開し、情報センターに足を運んでいただくための機会を提供した。</p> <p>また、若年層の女性を対象に、インスタグラムでの自己表現や上手な褒め方・褒められ方という身近なテーマを取り上げ自己表現の方法や自己肯定感について考える内容を実施。設定していた定員を上回る参加があったばかりでなく、若年層だけではなく幅広い年代の参加があり、さまざまな年代の方々の意見交換の場となり有意義な時間となった様子がうかがえた。</p>	5/27、7/20 9/21、11/29 12/15 延べ 107人
	<p>「エルプラリーディング」</p> <p>生産者の周囲の環境や具体的な人物像、また、コーヒー豆に適切な価格を付けるための取り組みについて講師にお話しいただいたことで、参加者に日常の消費生活について考えるきっかけを提供できた。コーヒーを試飲することで生産者を想い、参加者同士のつながりもうまれた。</p>	12/14 27人
	<p>「学習スペース@ジョーセ」</p> <p>広く学生に情報センターの存在を周知すること、それをきっかけに4分野へ興味を持つもらうことを目的として、学生を対象とした学習スペースを提供した。</p>	①7/27～9/30 ②12/17～1/30 ③3/1～3/31 延べ 288人



平成 29 年度 札幌エルプラザ公共 4 施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
セ 男 女 タ 共 同 参 画	施設利用	件数 2,490	2,624	2,777	2,642	2,489	2,673	2,658	2,671	2,366	2,368	2,602	2,763	31,123
	人数 27,478	27,178	30,649	28,438	27,579	32,628	31,774	31,767	26,433	23,957	33,447	29,947	351,275	
	相談事業	件数 61	56	51	55	62	50	53	54	43	45	41	51	622
	視察・見学	件数 0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	4
	人数 0	0	0	0	0	8	0	1	3	0	0	0	0	12
	施設外事業	件数 0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	4
	人数 0	0	0	0	0	100	0	0	100	26	0	26	0	252
	計	件数 2,490	2,624	2,777	2,642	2,492	2,673	2,659	2,673	2,367	2,368	2,603	2,763	31,131
	人数 27,539	27,234	30,700	28,493	27,749	32,678	31,828	31,924	26,502	24,002	33,514	29,998	352,161	
セ 消 ン 費 タ 者 	施設利用	件数 282	300	320	278	249	354	339	300	307	275	357	350	3,711
	人数 2,899	3,303	3,546	2,915	2,323	3,877	3,725	3,499	3,286	3,179	3,964	3,090	39,606	
	相談事業	件数 1,020	1,005	1,186	1,036	1,002	1,012	1,106	1,082	1,057	1,027	1,067	1,089	12,689
	視察・見学	件数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	件数 282	300	320	278	249	354	339	300	307	275	357	350	3,711
※	人数 3,919	4,308	4,732	3,951	3,325	4,889	4,831	4,581	4,343	4,206	5,031	4,179	52,295	
	施設利用	件数 1,657	1,558	1,486	1,471	1,254	1,378	1,476	1,319	1,258	1,189	1,221	1,527	16,794
	人数 5,120	4,743	4,719	4,323	3,917	4,305	4,361	4,494	3,819	4,084	4,315	5,355	53,555	
	相談事業	件数 36	35	62	70	41	76	40	51	49	52	49	53	614
	視察・見学	件数 1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	8
セサ 市 ンボ 民 タト 活 動	施設外事業	件数 0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	5
	人数 0	0	108	0	0	0	0	0	0	7,972	40	0	14	8,134
	計	件数 1,658	1,559	1,487	1,472	1,255	1,378	1,476	1,321	1,260	1,190	1,222	1,529	16,807
	人数 5,157	4,783	4,889	4,397	3,963	4,381	4,401	4,554	3,840	4,176	4,378	5,443	62,362	
環 境 ブ ラ ザ	施設利用	件数 196	188	201	197	167	171	187	166	191	175	187	207	2,233
	人数 2,413	2,084	2,558	2,318	2,011	2,291	2,752	1,834	2,443	2,220	2,375	2,453	27,752	
	相談事業	件数 1	2	13	3	4	3	1	2	3	2	7	10	51
	視察・見学	件数 1	2	2	8	6	4	2	2	1	5	0	3	36
	人数 15	46	38	389	270	80	26	21	72	208	0	146	1,311	
	展示コーナー	件数 2,790	1,552	2,585	3,391	3,023	4,439	4,143	3,471	3,390	3,195	3,918	3,456	39,353
	総合学習	件数 36	160	195	0	25	103	556	202	60	0	14	0	1,351
	施設外事業	件数 0	0	1	2	2	4	5	3	0	2	0	2	21
	人数 0	0	16	86	129	605	342	219	0	108	0	344	1,849	
	計	件数 197	190	204	207	175	179	194	171	192	182	187	212	2,290
	人数 5,255	3,844	5,405	6,187	5,462	7,521	7,820	5,749	5,968	5,733	6,314	6,409	71,667	
公 共 4 施 設 計	施設利用	件数 4,625	4,670	4,784	4,588	4,159	4,576	4,660	4,456	4,122	4,007	4,367	4,847	53,861
	人数 37,910	37,308	41,472	37,994	35,830	43,101	42,612	41,594	35,981	33,440	44,101	40,845	472,188	
	相談事業	件数 1,118	1,098	1,312	1,164	1,109	1,141	1,200	1,189	1,152	1,126	1,164	1,203	13,976
	視察・見学	件数 2	3	2	9	9	4	3	5	1	5	1	4	48
	人数 16	51	38	393	283	80	27	33	72	208	14	167	1,382	
	展示コーナー	件数 2,790	1,552	2,585	3,391	3,023	4,439	4,143	3,471	3,390	3,195	3,918	3,456	39,353
	総合学習	件数 36	160	195	0	25	103	556	202	60	0	14	0	1,351
	施設外事業	件数 0	0	2	2	3	4	5	4	3	3	1	3	30
	人数 0	0	124	86	229	605	342	319	7,998	148	26	358	10,235	
	計	件数 4,627	4,673	4,788	4,599	4,171	4,584	4,668	4,465	4,126	4,015	4,369	4,854	53,939
	人数 41,870	40,169	45,726	43,028	40,499	49,469	48,880	46,808	48,653	38,117	49,237	46,029	538,485	

※消費者センター施設利用、相談事業件数に関しては消費者協会分を含む

情報センター	人数 7,327	6,468	8,501	6,683	7,148	7,968	6,848	8,841	6,722	6,988	8,575	7,410	89,479
--------	----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

平成29年度札幌エルプラザ 公共4施設総利用者数	49,197	46,637	54,227	49,711	47,647	57,437	55,728	55,649	55,375	45,105	57,812	53,439	627,964
-----------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

前年度比 総利用者数: 96.7% (前年度649,590)



(9) 企画事業課【地域活動等事業：自主事業、受託事業】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
企画提案事業	<p>「次世代の活動の担い手育成事業」</p> <p>市民文化局市民自治推進課からの公募(プロポーザル形式)に応募し受託した事業。小学生部門、中学生部門、高校生部門、若者部門(学生マッチングバンク含む)に分かれ、各世代に対して「まちづくり」についての周知と意識の変容を図ることを目的として実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生部門：181名 ・中学生部門：24名 ・高校生部門：213名 ・大学生部門：1,834名
自主企画事業	<p>「円山動物園事業『Zooナイトキャンプ・冬』」</p> <p>円山動物園との共催で、企画事業課自主事業として実施。冬の動物園に宿泊し、グループ活動を中心として、普段は見ることのできない動物たちの生態を観察・学習した。</p>	1/8～9 16人
受託型事業	<p>「『第69回さっぽろ雪まつり』つどーむ会場すべり台等制作・運営業務」</p> <p>さっぽろ雪まつりの第二会場の屋外アトラクション制作及び会期中の運営を行った。活動協会全体の取り組みとして、若者支援課によるボランティアコーディネートや児童会館によるメッセージの作製のほか、他課職員も制作・運営に従事した。</p>	12/15～2/12 期間中来場者総数 669,000人
	<p>「まちの文化祭だい・どん・でん！2017」</p> <p>市内中心部の道路を封鎖し、ブースに分かれたパフォーマンスイベントを行った。若者活動センターと児童会館と連携した、これまでの「だい・どん・でん」とは違った関わりがで、活動協会全体で取り組めた事業となった。</p>	9/15～17 15,115人
	<p>「花とみどりのキッズパーク in きよた」</p> <p>清田区20周年記念事業の一環として「花とみどり」をテーマとした子ども向けイベントを行った。巨大迷路と工作コーナーの企画運営のほか、ステージパフォーマーやキッチンカーを手配し、賑やかな場を提供した。</p>	8/6 600人
	<p>「『おもてなし推進事業』学生ボランティア募集・管理運営業務」</p> <p>学生ボランティア募集から運営に至るまでのボランティアコーディネートを担った。各種学校を訪問、学部学科の教員や教務課への案内を行い、45人（定員50人）の希望者が集まった。意識向上とグループ醸成を目的としたワークショップ3回、市内の主要観光地巡回活動6回+雪まつり会場1回を実施。当初の観光客接触目標300件を上回る508件の観光客に向けおもてなしを行った。</p>	10/24～3/31 (全10回) 会場：札幌駅、宮の沢、もいわ山周辺、雪まつり会場 延べ125人

(10)その地 地域活動等事業等（こども育成事業、財団連携事業）

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
学習支援事業	<p>「まなびのサポート事業『遊學舎 まなべえ』」</p> <p>生活困窮世帯の中学生を対象にした学習支援事業。事業実施から6年が経過し、昨年度同様市内40会場で活動を実施した。552人の中学生が本事業に参加し、中学生への学習支援にあたっては、札幌市内・近郊の大学から254人の学習支援サポートの一協力のもと活動を行った。</p> <p>学習面はもちろん、会場ごとに行うレクリエーションタイム・お楽しみ会、会場の枠を超えたスペシャルまなべえと体験活動をとおしての自己肯定感の醸成を意識したプログラムを開催した。また、野外活動課によるスペシャルまなべえプログラム提供や、課題を抱える事業参加者についての若者支援事業課とのケース検討会議など、他課との連携についても広がりを見せている。</p>	6月～3月 会場40会場 登録人数：552人 学習支援サポートー登録 延べ254人
自立支援事業	<p>「わかもの&ガールズ相談」</p> <p>厚労省より受託した自殺対策事業を市民参画課と若者支援事業課の連携にて実施。若者にとって身近な「LINE」を活用した相談業務を実施。札幌市内の中学校、高等学校へカードを配布し告知を行った結果、中学生からの反応が多く寄せられた。開催時期が3月ということもあり、学齢の移行期にいる若者から、進学や進級に関する学校生活の悩みが多く寄せられた。また、就労に関する相談も寄せられ、Youth+センターの相談窓口を紹介した。</p>	3/8～28 525件（人） ※ガールズ相談含む



6. 重要な契約に関する事項

(1) 地域活動等事業

(千円)

契 約 の 概 要 (業務名)	相 手 方	契約金額
札幌まなびのサポート事業	札幌市長	45,907
地域若者サポートステーション事業	厚生労働省	40,847
自殺予防対策事業（わかもの&ガールズ相談）	厚生労働省	5,825

(2) 指定管理事業

契 約 の 概 要 (業務名)	相 手 方	契約金額
札幌市児童会館及び札幌市こども人形劇場管理業務	札幌市長	3,023,522
札幌エルプラザ公共4施設管理業務	札幌市長	245,609
札幌市若者支援施設管理業務	札幌市長	154,732
札幌市青少年山の家管理業務	札幌市教育委員会委員長	126,557
札幌市定山渓自然の村管理業務	札幌市教育委員会委員長	75,390
札幌市こどもの劇場やまびこ座管理業務	札幌市長	43,194
札幌市北方自然教育園管理業務	札幌市教育委員会委員長	29,361
札幌市二条はるにれ児童会館管理運営業務	札幌市長	19,809
札幌市東雁来児童会館管理業務	札幌市長	14,084

(3) 受託事業

契 約 の 概 要 (業務名)	相 手 方	契約金額
札幌市ミニ児童会館管理運営業務	札幌市長	1,655,532
札幌市地域子育て支援拠点事業(児童会館)運営業務	札幌市長	59,662
札幌市「放課後子ども館」管理運営業務	札幌市長	13,392

7. こども基金（スマイルキッズ）

(1) 協力者一覧

寄付金総額 748,097 円 全 71 件

【法人】 2 件

寄付者氏名	寄付額
株式会社ハビングループ	100,000
株式会社館野オフィスサービス	50,000
合 計	150,000

【団体】 50 件

寄付者氏名	寄付額
北区新川地区民生児童委員協議会	40,000
人形劇団パペットパートナー	30,000
やまびこ座読み語りの会	10,000
人形劇団ぽけっと	10,000
菊水元町保育園	10,000
その他	249,097
合 計	349,097

【個人】 19 件

寄付者氏名	寄付額
個人寄付者	249,000
合 計	249,000

IV. 事務報告

1. 設立年月日 : 昭和 55 年 4 月 1 日

2. 定款に定める目的

この法人は、人とのつながりを通じて青少年の健全育成と青少年女性の社会参加を促進し、魅力あふれる地域社会創造のための主体的な活動を支援することにより、地域社会の発展及び向上を図り、もって豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 青少年の健全育成と社会参加に関する事業
- (2) 社会教育の推進に関する事業
- (3) 市民活動の振興に関する事業
- (4) その他法人の目的を達成するために必要な事業

4. 事務所の状況

主たる事務所 : 札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目 1 番 10 号
従たる事務所 : 札幌市北区新琴似 8 条 1 丁目 1 番 34 号 2 階

5. 役員等に関する事項

(1) 理事

理 事 長	岸 光 右	札幌市副市長
副理事長	浅 野 正 信	札幌市子ども未来局 局長職
専務理事	今 川 道 夫	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 専務理事
理 事	忍 博 次	北海道社会福祉協議会 前副会長理事
理 事	相 馬 宏 哉	NPO法人ネイチャープログラムデザイン 理事長
理 事	前 田 元 照	(一社)札幌市私立幼稚園連合会 会長

(2) 監事

監 事	西 田 史 明	札幌商工会議所 中小企業相談所 所長
監 事	梅 津 太	税理士

[平成 30 年 3 月 31 日現在 計 8 人]

平成 29 年度における理事会は、次のとおり 5 回開催した。

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 29 年 6 月 5 日	【第 17 回理事会】 1 「平成 28 年度事業報告及び附属明細書の承認」の件 2 「平成 28 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録等の承認」の件 3 「平成 29 年度予算の変更」の件 4 「特定費用準備資金等取扱規則の設置」の件 5 「定時評議員会の日時並びに目的である事項」の件	1 可決 2 可決 3 可決 4 可決 5 可決
平成 29 年 6 月 21 日	【第 18 回理事会】 1 「理事長、副理事長及び専務理事の選定」の件 2 「その他報告」の件	1 可決 2 報告
平成 29 年 11 月 7 日	【第 19 回理事会】 1 「職務執行状況報告」の件 2 「その他報告」の件	1 報告 2 報告
平成 29 年 12 月 28 日	【第 20 回理事会】 1 「役員報酬の変更」の件	1 可決
平成 30 年 3 月 2 日	【第 21 回理事会】 1 「職務執行状況報告」の件 2 「平成 29 年度予算の変更」の件 3 「平成 30 年度事業計画書及び収支予算書等の承認」の件 4 「役員報酬の変更」の件 5 「その他報告」の件	1 報告 2 可決 3 可決 4 可決 5 報告

(3) 評議員

評議員	加藤 喜久子	北海道情報大学 教授
評議員	菊池 恒	札幌市商店街振興組合連合会 理事相談役
評議員	西田 充潔	北星学園大学 教授
評議員	濱口 登代喜	(公財)北海道青少年育成協会 専務理事
評議員	林 美枝子	日本医療大学 教授
評議員	荒山 瞳子	札幌市 PTA 協議会 副会長
評議員	秦 直樹	(社福)札幌市社会福祉協議会 評議員
評議員	箭原 恭子	(公社)札幌市母子寡婦福祉連合会 理事長

[平成 30 年 3 月 31 日現在 計 8 人]

平成 29 年度における評議員会は、次のとおり 1 回開催した。

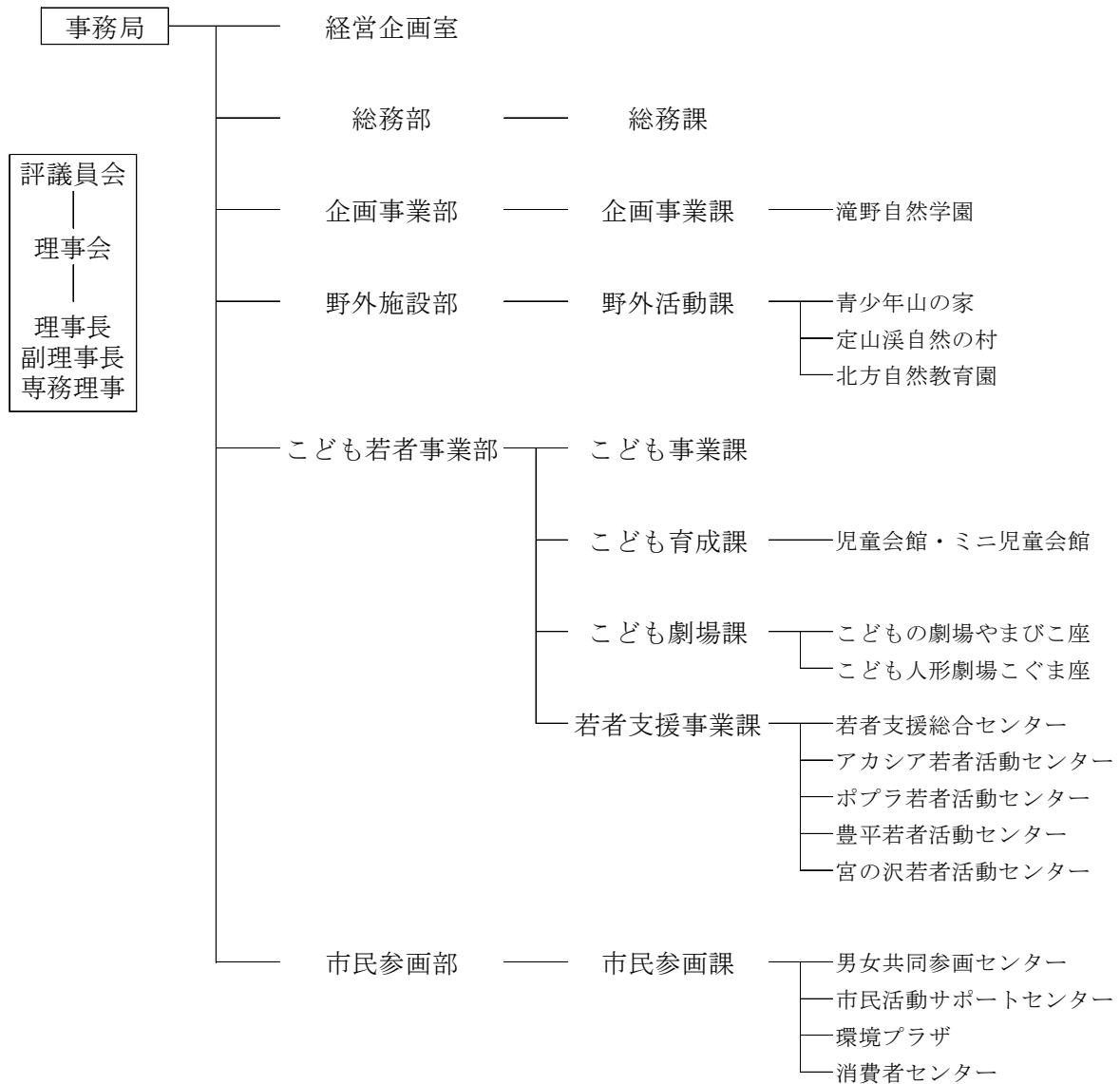
開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 29 年 6 月 21 日	【第 6 回評議員会】 1 「平成 28 年度事業報告及び附属明細書」の件 2 「平成 28 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」の件 3 「定款の変更」の件 4 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改正」の件 5 「理事の選任」の件 6 「監事の選任」の件 7 「評議員の選任」の件	1 報告 2 可決 3 可決 4 可決 5 可決 6 可決 7 可決



6. 職員に関する事項（平成 29 年度末現在）

平成 30 年 3 月 31 日現在における事務局組織は次のとおりである。

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 機構図



(1) 主要な職員

役職名	氏 名	採用年月日	担当職務
事務局長	生出 裕一	平成元年6月19日	財団運営業務の総括
経営企画室長	佐々木勝敏	平成12年4月1日	運営戦略立案・分析業務の総括
総務部長			総務課業務の総括
企画事業部長	石井 一彦	昭和63年4月1日	企画事業課業務の総括
野外施設部長	岡本 峰子	昭和61年4月1日	野外活動課業務の総括
こども若者事業部長	事務局長事務取扱		こども若者事業部業務の総括
こども事業担当部長	五十嵐 健二	平成元年4月1日	こども育成課業務の総括
こども事業担当部長	下川原 清貴	昭和63年12月14日	こども育成課業務の総括
若者支援担当部長	佐々木洋一郎	昭和56年4月1日	若者支援事業課業務の総括
市民参画部長	寺田 陽子	昭和55年4月1日	市民参画課業務の総括
総務課長	斎藤 隆弘	昭和60年4月1日	総務・財務・経理等の総括
人事担当課長	土井 聖子	平成12年4月1日	人事・労務等の総括
企画事業課長	蓮井 潤子	平成4年2月1日	企画事業課・自主事業の総括
野外活動課長	井崎 光男	昭和59年9月9日	青少年山の家の総括
定山渓自然の村担当課長	山田 憲克	平成9年7月1日	定山渓自然の村の総括
こども事業課長	会田 彰仁	平成4年2月1日	児童会館運営に関する総括
管理担当課長	志賀 和行	昭和63年2月1日	児童会館管理に関する総括
調整担当課長	加藤 孝	平成12年4月1日	育成課調整に関する総括
児童会館担当課長	斎藤 美季	平成5年6月1日	児童会館（豊平・白石担当）
児童会館担当課長	齋藤 隆仁	昭和59年4月1日	児童会館（厚別・清田担当）
児童会館担当課長	大場 瞳彦	昭和62年4月1日	児童会館（西・北・東担当）
児童会館担当課長	笹川 晃宏	平成5年4月1日	児童会館（中央・南・手稲担当）
こども劇場課長	矢吹 英孝	平成3年4月1日	こども劇場課の総括
若者支援事業課長	松田 考	平成13年1月1日	若者支援事業の総括
市民参画課長	高橋 雅裕	平成8年5月1日	エルプラザ公共4施設業務の総括
市民活動担当課長	山田 弓人	平成8年12月1日	市民活動に関する調整

(2) 職員数

主任指導員	170人	サポートスタッフ	76人
指導員	497人	再任用職員	8人
専門指導員	63人	臨時職員	55人
職場限定職員	21人	パートタイム職員	784人
主任パートスタッフ	136人		
合計			1,810人
内常勤職員数	963人	内非常勤職員数	847人

7. 会計に関する事項

公認会計士の関与の有無

監査契約締結（「独立監査人の監査報告書」：平成 30 年 5 月 23 日受理）





